

渡井川水門・排水機場整備事業 事業進捗報告会

令和7年11月1日

宮 城 県



明日につなぐ×ミヤギのドボク
宮城県土木部

1. 事業概要

- 鳴瀬川水系渋井川は流域面積18.6km²、流路延長7.88kmであり、大崎市内の住宅密集地を流下していることから水系上の重要性も高い河川である。
- また、鳴瀬川本川の背水の影響を受けやすく、平成27年関東・東北豪雨では渋井川が破堤し、床上浸水100戸、床下浸水300戸、浸水面積213haの甚大な被害が発生している。
- 決壊箇所については、平成27～平成29年に災害関連事業を実施し完成しており、背水による逆流を防止するための水門整備を令和元年度から実施していたが、令和元年東日本台風により再度渋井川が決壊した。
- このため、支川の合流処理対策として、排水機場整備を実施し早期に浸水被害の解消を図るものである。

【事業内容】

<水門>

事業概要: 水門本体(W=43.0m,H=20.5m)
プレートガーダ構造ローラーゲート N=2門

事業費: 28億円

事業期間: 令和元年度～令和7年度

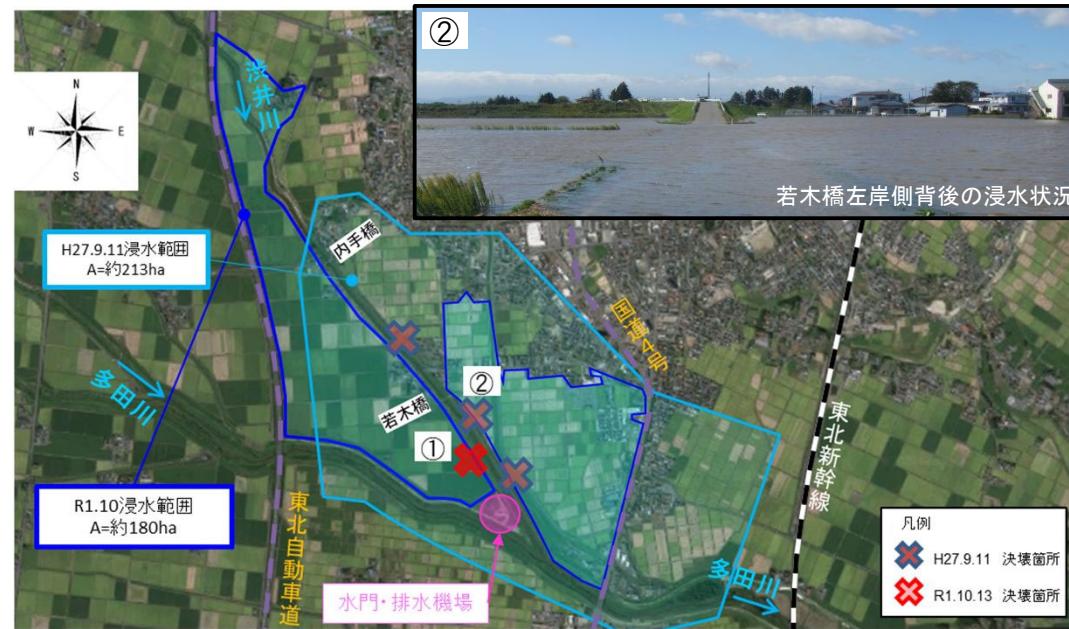
<排水機場>

事業概要: ポンポン形式 立軸斜流ポンポン(2.0m³/s×3台)
樋門形式 柔構造樋門(1.7m×1.7m)

事業費: 40億円

事業期間: 令和4年度～令和7年度(令和8年度に変更)

【位置図】

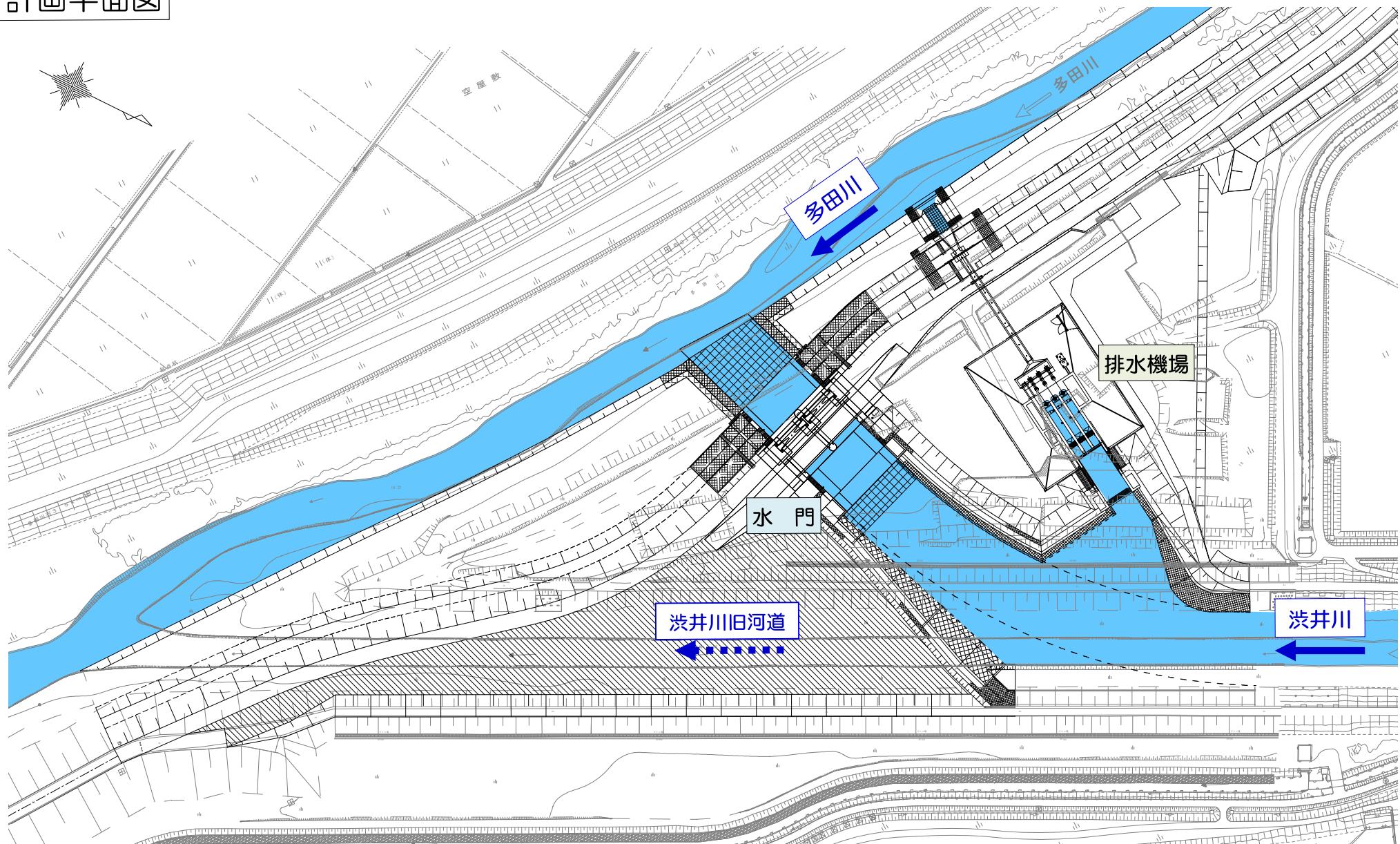


完成イメージ

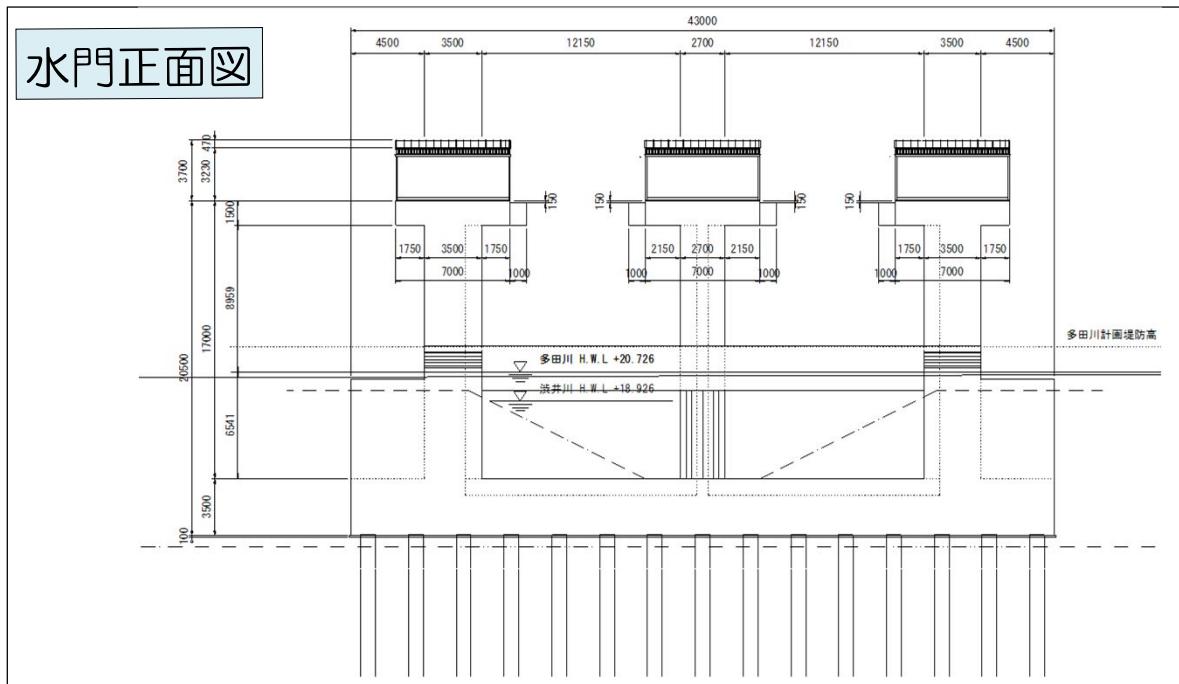
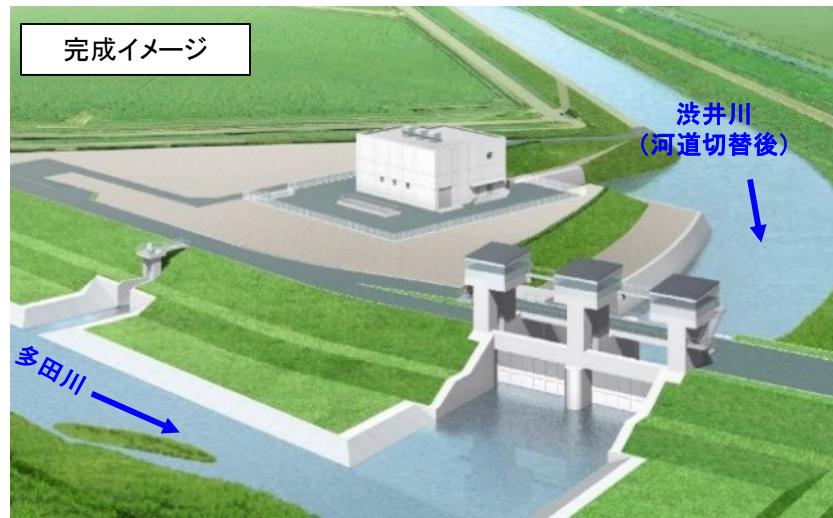


2. 事業計画図

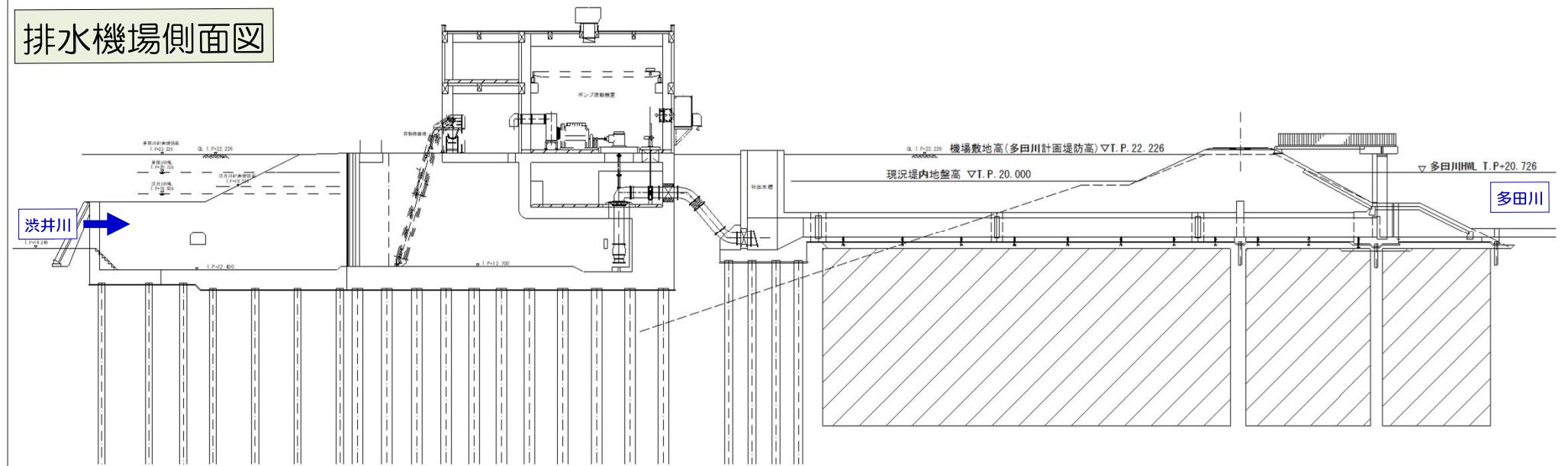
計画平面図



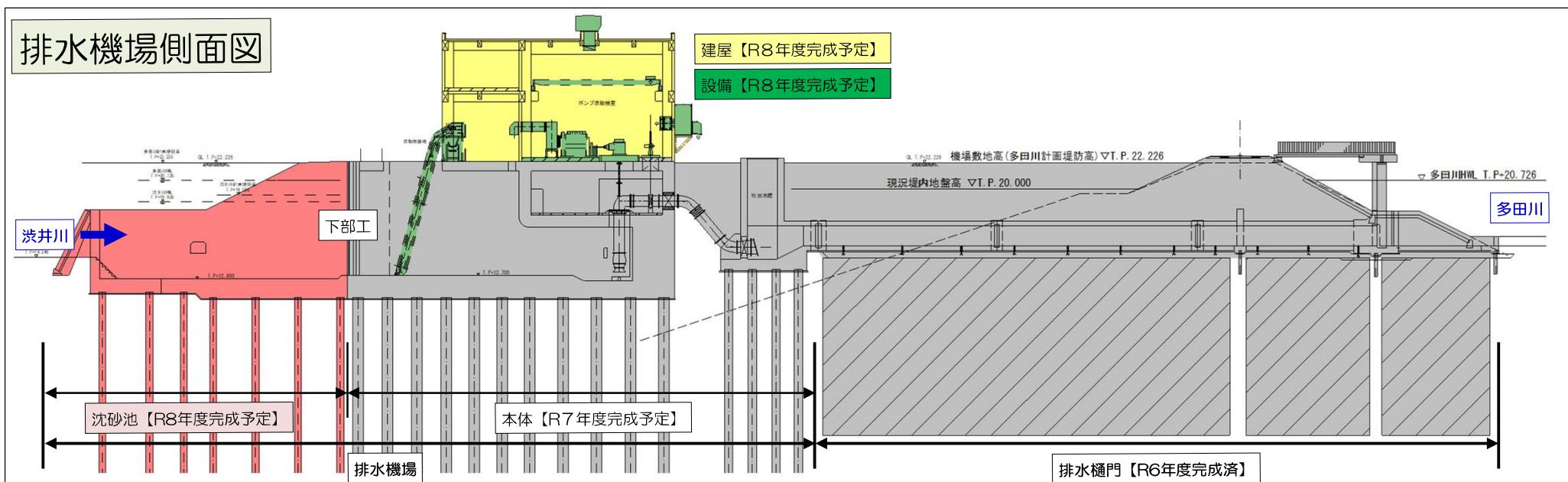
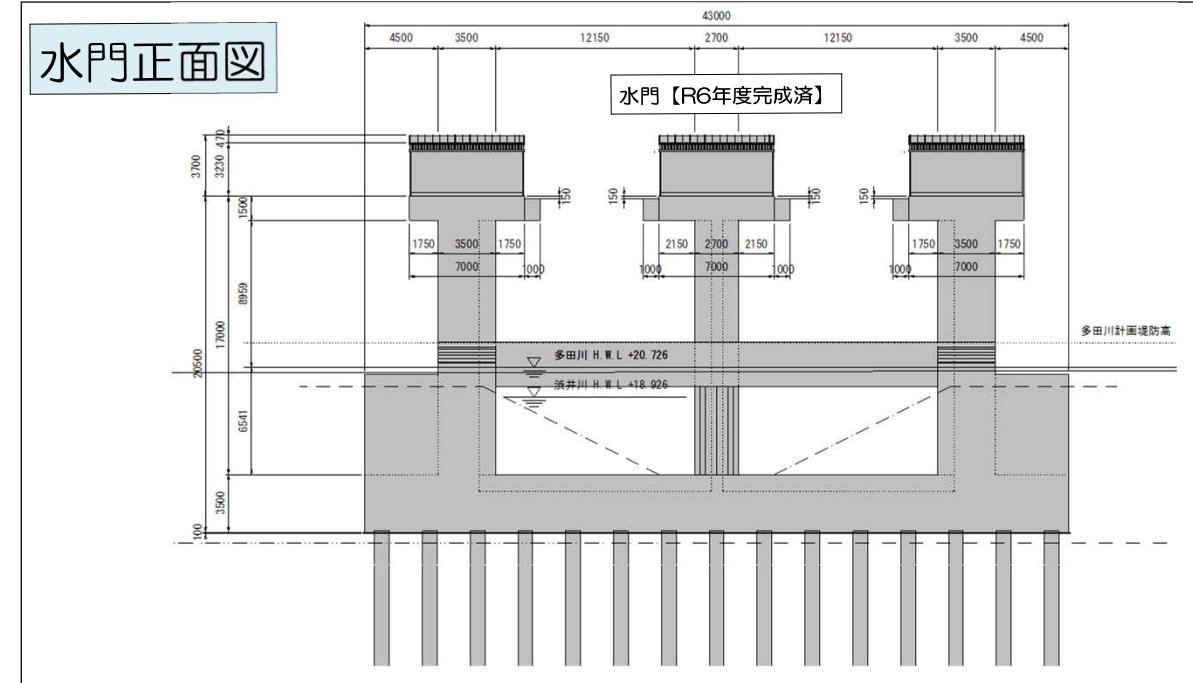
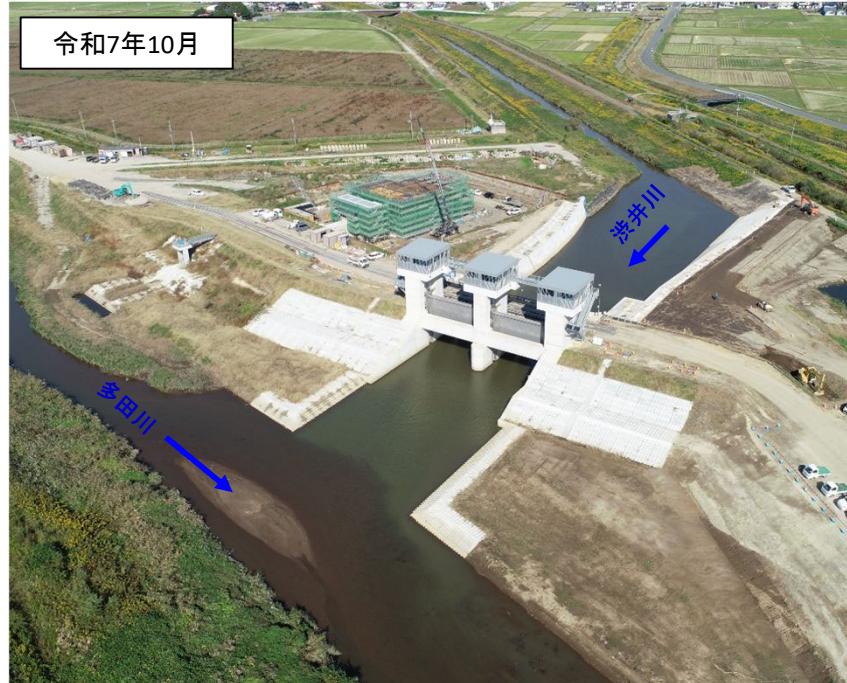
2. 事業計画図



排水機場側面図



3. 工事の進捗状況



3. 工事の進捗状況

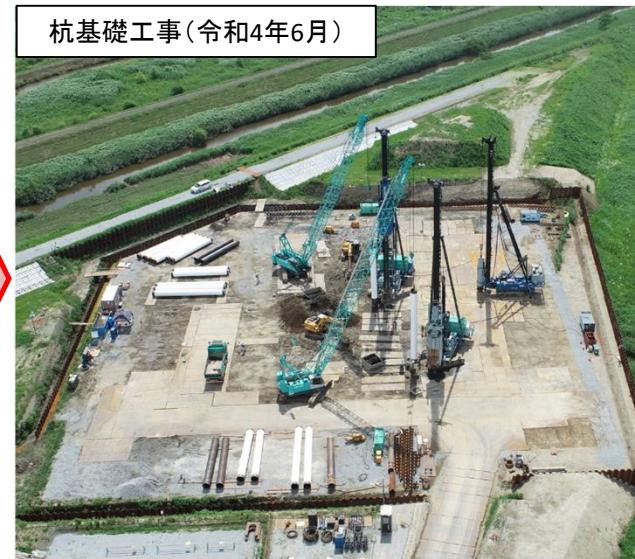
○水門

令和6年度までに水門本体が完成し、その後進めてきた河道の切替が完了したことから、9月より水門の供用を開始しています。

工事着手前(令和2年8月)



杭基礎工事(令和4年6月)



本体工事(令和5年7月)



設備工事(令和6年4月)



護岸工事(令和7年6月)



水門供用(現在)(令和7年10月)



3. 工事の進捗状況

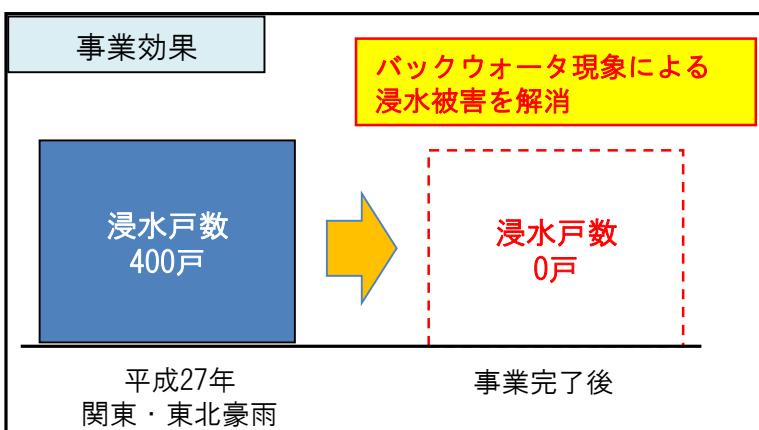
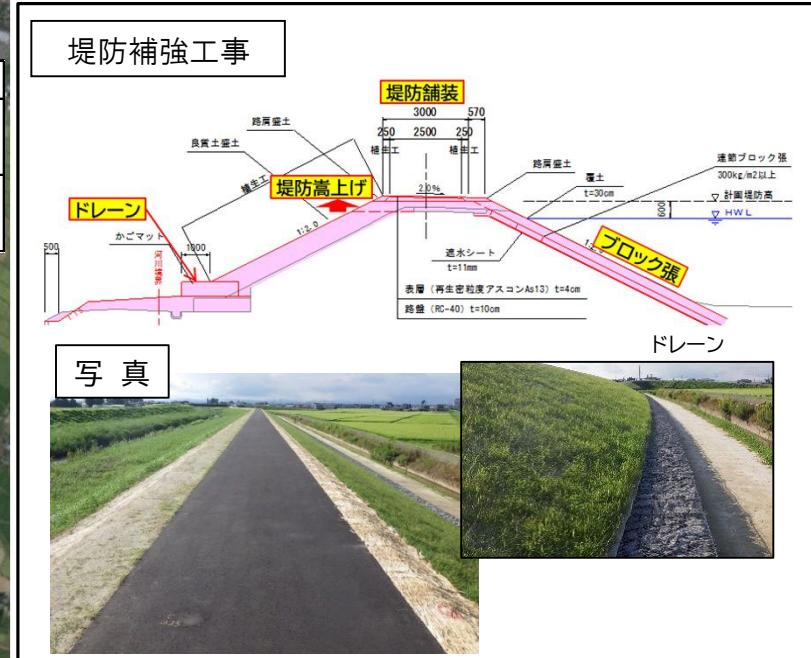
○排水機場（現場発生土の土質改良の追加や、資材確保等に時間を要したことに伴う事業期間の変更 令和7年度完成⇒令和8年度完成）
現在、本体下部工を施工中です。令和7年度までに本体下部工が完成し、引き続き、沈砂池、ポンプ設備、建築工事を進め、
令和8年度の完成に向けて事業進捗を図ってまいります。



4. 水門の供用開始

○水門の供用開始による事業効果

渋井川水門の整備及びこれまで実施してきた渋井川の堤防補強により、平成27年関東・東北豪雨規模の洪水に対して、堤防からの越水氾濫を防ぐことが期待されます。



排水機場の完成までの期間において大規模な洪水が予想される場合には、国土交通省へ排水ポンプ車の出動要請を行います。

早期完成に向けて、事業に取り組んでまいりますので、
引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

○ 御不明な点がありましたら下記まで御連絡ください。

宮城県北部土木事務所 河川砂防第二班

担当：味上、佐藤

電話：0229-91-0747

mail: nh-dbkk2@pref.miyagi.lg.jp



明日につなぐ×ミヤギのドボク

宮城県土木部